



# 道しるへ

令和5・8  
No.64

「この道の向こうには、夢がある」



● あいさつ・新役員紹介	P. 2
● こどもの居場所づくり事業	P. 3
● 楽しいがいっぱい	P. 4~5
● 支会からこんにちは	P. 6
● 知っとコーナー	P. 7
● おしらせ・あとがき	P. 8

*Maru*



## 「やっと会えたね」ここから出発



京都府母子寡婦福祉連合会 会長 佐竹 幸子

ゴールデンウィーク明けに新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行となり、対策は個人の判断が基本となりました。そのような中でも、母子会活動も少しずつ対面ででき、子どもやお母さんの笑顔、会員同士の交流が戻ってきました。人と人との絆やつながりが本当に大切だと感じています。

さて、経済は徐々に回復といわれますが、ひとり親の生活は物価高騰、光熱費の値上げ等苦しく困難な状況が増えています。今年度も京都府では、こどもの居場所を通じた食料品

等の配布支援をしていただけることとなりました。「助かります！」の声、切実な母と子の声を伝え、継続していただけることを願っております。

毎年会員数が減少していましたが、今年度は維持できました。様々な情報はインターネットで簡単に入手できる時代ですが、「母子会があった良かった」と実感してもらえる会を目標に、各会員が未加入の方に声掛けしましょう。

後になりましたが、いつもあたたかい支援をしていただく京都府の西脇知事様はじめ各関係機関の皆様にお礼申し上げますとともに、尚一層のご協力をお願いいたします。

## 就任のごあいさつ



京都府健康福祉部家庭支援課参事 福阪 圭輔

京都府母子寡婦福祉連合会の皆様方におかれましては、平素より京都府の母子福祉施策の推進に、御尽力いただきまして誠にありがとうございます。

長引く物価高騰などの影響を受け、ひとり親家庭の生活は非常に厳しい状況にあると考えられます。そのような中、「こどもの居場所づくり事業」の実施や、「ひとり親家庭自立支援センター」及び「ヤングケアラー総合支援センター」の運営を担っていただくとともに、こどもの居場所等を拠点とした食料品・生活必需品等の配布などの緊急対策にも取り組んでいただき、府内それぞれの地域において相談支援活動を積極的に展開いただきましたこと、また、さまざまな御事情を抱えるひと

り親家庭一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

さて、京都府では令和4年12月に「京都府総合計画」を改定いたしました。これまでの「子育て環境日本一」に向けた取組をより一層進化させ、すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していくことのできる社会の実現を目指し、社会全体で子どもや子育て世代をあたたく見守り支えていく取組を進めてまいります。

私と致しましても、現場の声に耳を傾けながら、ひとり親家庭支援施策の充実・推進に、微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、皆様方の引き続きの御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

## 就任のごあいさつ



京都府ひとり親家庭自立支援センター 副センター長 小田 典一

本年4月から京都府ひとり親家庭自立支援センターの副センター長に就任いたしました小田典一と申します。

前職は、児童虐待や配偶者暴力など様々な分野の機能を総合化した京都府家庭支援総合センターという施設の総合相談担当で、相談や人材育

成に努めてまいりました。

相談者が抱える漠然とした不安は、少ない情報が起因することも多く、様々な課題にきめ細かに情報を提供し、不安から自立に向けた具体的な選択という局面に変えられるよう京都府ひとり親家庭自立支援センターは南部センターに4人、北部センターに2人相談員を配置し、就労や生活相談に努めておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

## 新役員紹介

～令和5年3月 評議員が改選されました～

### 京都府母子寡婦福祉連合会 評議員

- 中 瀬 惇 (前京都府社会福祉協議会児童福祉専門分科会委員長)
- 中 井 敏 宏 (京都府社会福祉協議会常務理事)
- 白 石 真古人 (京都新聞社会福祉事業団常務理事)
- 松 井 やす子 (京都府民生児童委員協議会副会長) \*新任\*

- 東 美佐子 (前京都府母子寡婦福祉連合会会長)
- 平 清 美 (前京都府母子寡婦福祉連合会母子部長)
- 儀 貝 英 雄 (元京都府ひとり親家庭自立支援センター副センター長)
- 水 島 幸 子 (元京都府健康福祉部家庭支援課長)

## 令和5年度 こどもの居場所づくり事業

夏休み等短期型 (夏・冬・春の長期休暇期間で15日以上)

事業名	実施場所	実施日
八幡市こどもの居場所づくり事業	八幡市社会福祉会館	夏休み、冬休み等の日曜日等
福知山市こどもの居場所づくり事業	福知山市総合福祉会館	夏休み、冬休み等の土曜日、日曜日等
宮津市こどもの居場所づくり事業	宮津シーサイドマートミッブルクッキングルーム	夏休み、冬休み等の日曜日等

休日等通年型 (年間50日以上)

事業名	実施場所	実施日
向日市こどもの居場所づくり事業	永坪会館	毎週水曜日
大山崎町こどもの居場所づくり事業	大山崎町中央公民館	毎週水曜日・日曜日
城陽市こどもの居場所づくり事業	城陽福祉センター他	毎週日曜日
京丹波町こどもの居場所づくり事業 [TMW]	丹波中央公民館 瑞穂ほほえみ 他	毎週月曜日・土曜日

## 居場所では学習に集中！！

京丹波町母子寡婦福祉会 塩貝 雅美

京丹波町母子寡婦福祉会では、平成29年度よりこどもの居場所づくり [TMW] を始めて今年で7年目、令和4年度からは1年を通じた居場所づくりに取り組んでいます。今は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から学習支援が中心です。

小学生は、学習中は休憩も忘れるほど一所懸命に取り組む、休憩中や終了後にはおしゃべりをしたり和気あいあいとしています。中学生は現在2名の1年生が真剣に取り組んでいます。

スタッフも都合がつく時には快く引き受けてくださり、教員OBの先生・京丹波町福祉支援課・社会福祉協議会のご協力のもと開催できると感謝しております。しかしながら、京丹波アプリやポスターにて行事の案内を行っていますが、まだまだ浸透していないのが現状です。

5月より活動制限が緩和されたこともあり、今年度は親子のふれあい行事等を少しでも行って、支援が必要なご家庭に少しでも手助けになるようなことができればと考えております。

※ [TMW] は居場所の愛称で、合併前の町名である丹波町、瑞穂町、和知町の頭文字です。



母子連として居場所づくり事業に取り組んで11年目。新型コロナウイルス感染予防に心がけ、みんなの来るのを待っています。



生活充実通年型 (年間100日以上)

事業名	実施場所	実施日
長岡京市こどもの居場所づくり事業	長岡京市久貝 (みんなのお家) 長岡京市東和苑 (つなぐさん家)	毎週火曜日 毎週土曜日
宇治市こどもの居場所づくり事業 (宇治北部)	宇治市五ヶ庄三番割集会所 (おうばく塾)	毎週火曜日・水曜日・金曜日
宇治市こどもの居場所づくり事業 (宇治南部)	宇治市総合福祉会館	毎週金曜日・土曜日
木津川市こどもの居場所づくり事業	木津川市木津町南垣外17-1	毎週火曜日・土曜日
舞鶴市こどもの居場所づくり事業 (東舞鶴)	南公民館	毎週金曜日・日曜日
舞鶴市こどもの居場所づくり事業 (西舞鶴)	西公民館	毎週火曜日・土曜日

※実施日時が変更となる場合があります。

## 参加のご家庭から

城陽市母子寡婦福祉連合会のこどもの居場所は、家庭ではしないような体験ができます。茶道 (御点前)、書道、寄せ植え、フラワーアレンジメント、卓球教室、英会話、パン教室、陶芸教室など、いろいろな企画がされています。

ある書道教室の日の後に、参加のみなさんと座談会をされました。その時のみなさんの声です。

「楽しい。七夕も鉛筆ではなく、(筆文字を指して) それがいいです。」  
 「楽しい。また来たいです。」  
 「毎回、教室と違って、何をするのが楽しみにしています。」  
 「1年生では筆は持たないので、今回は2回目ですが、筆を持つのが楽しみです。(母)」

講師の先生も「基本を入れて、それぞれに合った教材を考えています。」とのこと。  
 これからも楽しい居場所です。



七夕の短冊飾り

パン教室



いきいきふれあい事業

親子のふれあいと参加者相互の交流を目的とし、京都府及び京都新聞社会福祉事業団から後援・助成を受けて、楽しい企画を実施しています。

乗り物に乗ってる人から、私たちはどう見える？

宇治市連合母子会 北野 ますみ

令和4年度のいきいきふれあい事業は、鈴鹿サーキットに決定。でも、遊びだけではなく、「乗り物を通しての交通安全を学ぶ」という重大ミッションを伴うものでした。

バイクの運転初体験で、ルートを間違え戻ろうと思ったら逆走してしまった方、道を譲ってもらったら「ありがとう」「すみません」と譲り合う気持ちや挨拶をちゃんとしようと思っただけで、ゲーム感覚で子どもも楽しみながら学べ、いつもよりしゃべり話を聞いてくれているように感じました。

また、隣接するサーキット場のエンジンの音が大きくて、スピードがすごいと感じました。

遊びだけでなく、少し違った視点から、楽しみながらゲーム感覚で、親子で交通安全について考えるきっかけ作りと一緒に、会員同士の交流ができ、無事ミッションも達成できたかなと思います。



いきいきふれあい事業でアクティブに

南丹市母子寡婦福祉会 西村 昌子

南丹市母子寡婦福祉会のいきいきふれあい事業では、令和3年度にサッカー観戦でサンガスタジアム（京都サンガF.C.vs大宮アルディージャ）、4年度はバスケットボール観戦でハンナリーズアリーナ（京都ハンナリーズvs群馬クレインサンダーズ）に行きました。目の前で観る選手たちのプレーは迫力満点、ゴール目指してボールをつなぎ得点が決まった瞬間、会場全体に歓声が上がりました。母子のみなさんも笑顔いっぱいでした。

また、今年度は久しぶりに京都を離れてネスタリゾート神戸へ行ってきました。心配していた天候も当日は快晴に恵まれ、大空の下、みなさん満喫されていた様子。大型バスに乗った時からワクワク感が高まり、「これまで立ち寄る機会がなかったサービスエリアも子どもには新鮮で楽しんでいました。」と微笑ましいエピソードもありました。



独自事業

2月19日（日）に母子寡婦福祉指導者研修会をハートピア京都（京都市中京区）で行いました。テーマを「母子家庭の介護支援の実態について」とし、華頂短期大学 高岡理恵教授にご講演いただき、その後、小グループに分かれてグループ討議を行いました。

研修会に参加して

舞鶴市母子福祉会 常塚 朋子

できることなら最後まで自宅が一番、でも施設に入らないといけないかもしれません。とはいえ、今の年金では施設に入りたくても、入れない場合やたくさんのサービスが受けられないこともあるようです。介護はする側もされる側も、あたたかい気持ちでできればいいのですが、それはなかなか難しいことです。

今回、研修会に参加できたことは大変良かったと思いますし、母子会での繋がりをもちに、一人でも多くの人に伝えていけたらと思います。

自分もいつかは通る道です。そのためにも若いうちからこのような研修会に参加できれば、将来や老後に役立つと思いました。人から聞くのではなく、自分の耳で聞くことが一番良いと思います。

介護のことも気になりますが、それに加えて、今の年金で入れるくらいの施設を作ってほしいとも思っています。



毎年3月に「知事と新入学児童等のつどい」を開催しています。京都府知事が一緒にダンスをしたり、知事から記念品をくださったりして、4月から小学校に行くお友だちをお祝いしてくださいませ。

参加された方の声を紹介します。

- ・知事さんが来られていて、いい思い出になりました。
・知事さんと遊べて、写真が撮れてよかったです。
・知事さんが子どもと一緒に遊んでくれて楽しかった。
・遊びをリードしてくれるNPO京都子どもセンターの方のおかげで、堅苦しくなく楽しく過ごせました。
・久しぶりの遠出で良い思い出を作ることができました。



招待行事

3月4日（土）～5日（日）にかけて、「親子でユースホステル体験」として宇多野ユースホステルに招待していただきました。昼間は写真を使ったポイントラリー、夜は焚火、翌日は自力で火起こしを体験して、その火でピザを焼くなど、家ではできない体験をたくさんすることができました。

宇多野ユースホステル参加を終えて

宇治市連合母子会 山本 香織

なかなか宿泊旅行へ行けるところへ新型コロナウイルス感染拡大防止で自粛生活を余儀なくされましたが、そんな時に参加のお話をいただきました。

相部屋と聞いて、不安と期待でドキドキしましたが、お会いすると、とても気さくな話しやすい方で、息子も同年代ということですぐに仲良くなっていました。

夜には焚火を囲みマッシュマロを焼くといった普段ではできない体験をしました。焚火のあとは部屋へ戻り、お菓子を食べながら普段の生活や学校のことなど話したり、4人でトランプをして楽しみました。息子は2段ベッドが初めてだったので寝られずにいたようです。

翌日、朝食は夕食より豪華で子どもたちも大はしゃぎ！家ではなかなか作れないような朝食で私も堪能させていただきました。

薪を自分たちで切ったり、火を起す体験もしました。火が点いた時には「点いた！」と歓声が上がると嬉しいかったです。

あつという間の2日間、日頃、息子には小言ばかり言っていますが、今回の宿泊体験で一緒にたくさん笑うことができました。本当にありがとうございました。



社会福祉法人読売光と愛の事業団大阪支部（支部長室田勝様）を通じて、6月17日（土）に京都市中京区の先斗町歌舞練場で開催の第3回坂東流西日本チャリティーゆかた会に御招待いただきました。

せっかくの機会、「行く」を前提に

綾部市母子寡婦福祉会 吉崎 由美

「ゆかた会って、浴衣の販売会でしょ？」案内を郵送したあと、たまたま出会った一寡婦さんの反応です。「会って説明することの大切さ」を思い知らされた出来事でした。ともあれ、日本舞踊鑑賞の貴重な機会であることを理解いただき、綾部の寡婦8名は、市の防災バス（笑）を借り歌舞練場を目指してGO！

「せっかく来たのに買い物する時間ないの？」の声に、急遽、繁華街を散策する時間も設定しました。帰路では「踊りを観るのが好きやし楽しかった」「お師匠さんたちの登場手前で帰るのは残念やったわ」「久しぶりに京都に行けて嬉しかった」などなど、皆さんの笑顔にひと安心しました。同時に、寡婦こそ人の繋がりが薄れていく世代だと痛感しました。今回のように行事やイベントに出かける機会があれば、「行けない」ではなく「行く」を前提とした働きかけを、今後もしようと思えます。



5月14日（日）京都サンガF.C.ハートフルシート(supported by JR西日本)として、サンガスタジアム by KYOCERA（亀岡市）でサッカーの試合観戦をすることができました。

参加されたみなさんの感想を御紹介します。

・私はサポーターの応援の迫力にまず驚き、声を聞いてるだけでも興奮しました。思ったより近くで見られることで選手のプレーがはっきり見られました。テレビだと前後半45分って長いと思ってましたが、近くで見るとあつという間でした。子ども達はサポーターさんに合わせて応援を楽しんでいました。ゴール付近でのプレーは会場も騒めくところで、声が出ていました。来年も是非こういう機会があればうれしいですし、参加したいです！！

・本当に、子どもがすごく楽しんで、また行きたいと言っていました。テレビで見るよりも興奮しました。

・野球は何度も見たことがありますが、サッカーは初めてでした。会場の広さ、人の多さ、応援他、感動しました。また行きたくくなりました。



楽しいがいっぱい

食料品寄付

5月12日（金）に京都洛西ロータリークラブ（多田裕昭会長）からお米やお菓子の寄付をいただきました。いただいたお米やお菓子はこどもの居場所を通じて、こどもたちに配られました。

たくさんのお菓子など、子ども達も大喜びでした

向日市三つ和母子会 堀 秀子

お米はこどもの居場所でのごはんの提供に、お菓子は居場所に来ていた子ども達にプレゼントしました。

子ども達は「なんでもらえんの～！」と言って大喜びでした。

「居場所で食べてるごはん、おいしいやろ？洛西ロータリークラブの方が寄付してくれはったお米やったんやで。」そんな会話をしながら、ワイワイと賑やかな楽しい居場所の時間となりました。





### 子どもと親の交流の場として…

宮津市母子寡婦福祉会 宮崎 静香

宮津市母子寡婦福祉会でも、年々会員数が減少していますが、会長を中心に、母子会に入会して頂けるよう日々試行錯誤しつつ、いきいきふれあい事業をはじめ、こどもの居場所づくり事業、クリスマス会の取り組みをしています。

その中でも居場所事業には力を入れており、「母子会ってこんなにも楽しいんだっ」と思ってもらえる事業にしたいと考えながら取り組んでいます。年々参加者が少なくなっていますが、野外活動としてマリニピア（京都府立青少年海洋センター）へ行ってアスレチックやボルダリング、野外炊事場で焼きそば作りをしたり、丹後のクラフト工房から教えに来てもらってキーホルダーなどを作ったり、親子で楽しめるものも取り入れています。「居場所に参加して良かった」と笑顔で過ごしてもらえた時は私たち役員も幸せな気持ちになります。

また、いきいきふれあい事業やクリスマス会では、親子のふれあい、会員同士の交流の場として皆さん楽しんでおられます。普段なかなか遠出が出来ない母子にとってのリフレッシュできる事業として、大切にしていきたいと思っています。



いきいきふれあい事業にて

マリニピアでアスレチック

京都府母子寡婦福祉連合会には、18の支会があります。各地域の支会の活動をご紹介します。

### 3つの“わ”を大切に

長岡京市三つ和母子会 佐竹 幸子

長岡京市三つ和母子会は、昭和29年に設立され、来年で70周年。現在、会員は、母子64名、父子1名、寡婦34名です。

“ママっちキッズ”は「お母さん」「お父さん」「子ども」を合わせた母子部の愛称です。ファイナンシャルプランナーを迎えて教育費や奨学金等の家計講座を開催したり、親子でピザを作って食べ、子育ての話や先輩ママに悩みの相談をして、心を軽くしてもらったりと、年1回、母子部独自に企画した行事を行っています。

長岡京市三つ和母子会として行っている管外研修では、母子と寡婦が一緒のバスに乗り、日頃できない体験をします。今年は、伊賀の里もくもく手作りファームでパン作り、寡婦は温泉でのんびり。

こどもの居場所は、英語を「話す」「聞く」「親しむ」をモットーに、2か所で開催しています。7年前に小学校低学年だった子は中高生に、高学年だった子は大学生になりました。

三つ和母子会という名前の由来になっている3つの“わ”は、“和”と“話”と“輪”です。この3つの“わ”を大切に伝えている活動しています。



管外研修

こどもの居場所



居場所での食事の一例

### ぼちぼちでも続けていきたいなあ

木津川市母子会 小玉 光子

木津川市になって17年、今や8万人を超える市になりました。

新しい街は他府県からの転居者が多いようで、そこではつながりを作ることは難しく、特にひとり親家庭であればなおさらです。ひとり親家庭は、そこに至るまでの千差万別の経過からか、つながりを持ちたくないという人も多いように思われます。

母子会の主な行事等を市の広報に掲載してもらっていますが「手元に届いているのかなあ?」「読んでくれるだろうか?」と心配ですし、「会の事業や活動が希望や要求に合っているのかなあ?」と悩むこともあります。

そのような中、今の活動の中心はこどもの居場所事業です。中学生の参加も増え、本格的に勉強に取り組んでいますが、勉強だけでなく、食事のことも大切に思っています。「居場所を続けていけるやろか。」とつぶやいたら、居場所に来ている子が「おいしいごはんが食べれなくなるから、やめんといて。」と言ってくれました。

一人ひとり抱えている課題も多く、一対一の対応も必要で、居場所の大切さを痛感しています。だからこそ、居場所をはじめとした母子会活動を若い世代につなげていき、みんなが喜べるような活動をしていきたいと思っています。

### 各地域での行事のお知らせ

	母子部交流会	ブロック別懇話会
北部	7月23日(日) 舞鶴市南公民館 ディンプルアート ※開催しました。	7月23日(日) 舞鶴市南公民館 ※開催しました。
中部	8月6日(日) 綾部市保健福祉センター フェルトでぶんちん作り	9月24日(日) ふれあいプラザ (亀岡市)

	母子部交流会	ブロック別懇話会
南部	6月11日(日) きつづ光科学館ふおとん ※開催しました。	9月24日(日) 宇治市社会福祉会館

お問い合わせは各地域の母子会まで

日本プロ野球選手会 × 長岡京市 京都府母子寡婦福祉連合会

「野球がしたい」「好きなのに思いっきり打ち込みたい」「その大切な気持ちを諦めなくていいよ」というプロ野球選手の思いから生まれたプロジェクト

## ドリームキャッチ 野球体験教室!

9月23日(土) 10:30~12:00 (10:00受付開始)

会場: 長岡京市立長岡第六小学校 体育館

【対象】 長岡京市在住の小学生より小学生10分、児童部員より小学生10分

対象: 京都府内在住: 夢を叶えたい心と夢を叶えたい親子 (小学1~4年生) 定員: 親子25組 (先着順)

募集期間: 8月1日~9月15日(金)

申込方法: 募集の申込み用紙に記入の上、母子連に提出してください。

申込先: 長岡京市・京都府母子寡婦福祉連合会 電話: 075-223-1360 FAX: 075-950-1503

お問い合わせ: 京都府母子寡婦福祉連合会 京都府中京区竹屋町通高島東入る清水町375番地 京都府立総合社会福祉会館8階(ハートピア) TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

### ドリームキャッチプロジェクトとは?

ドリームキャッチプロジェクトは、2019年に選手会で発表した「選手会ビジョン2019」の中で掲げている目標のひとつ「野球普及・育成環境の整備〜子供たちに野球を遊んでもらうために〜」に基づいて、昨年スタートしたプロジェクトです。このプロジェクトは、「野球をやりたいけどやれない」「続けられない」「などチャレンジする前にさまざまな理由からそれを諦めなければならない環境にある子どもたちを、少しでも動きたいという選手たちの思いから生まれました。応募時に、ひとり親家庭や児童養護施設で生活している小学校3年生の子が対象で、4年生~6年生までの3年間の野球活動を支援するプロジェクトです。

講師紹介

元中日ドラゴンズ 吉見 一紀氏  
元読売ジャイアンツ 吉野 浩二氏

内容: 講師紹介/準備運動/野球体験(キャッチボール・ティー打撃・守備練習・ミニゲーム) ひとり親家庭のお母さん・お父さんとお子さんを対象に、日本プロ野球選手による野球教室を開催します。運動に自信のない方でも安心してご参加いただけます。野球を通じて心と体をリフレッシュし、この機会に親子で野球を体験してみたい方はぜひご参加ください。

申込書

フリガナ 保護者氏名	生年月日	年	月	日	
フリガナ お子様の氏名	生年月日	年	月	日	学年( )
フリガナ お子様の氏名	生年月日	年	月	日	学年( )

住所 〒

電話番号 (日中の連絡先)

※お子様が3名以上居られる場合はお手数ですがお電話にてお申込みをお願いします。

お申込みは母子連事務局まで

令和5年5月8日以降、新型コロナにかかっても、法律に基づく外出自粛は求められなくなり、外出を控えるかどうかは、個人の判断に委ねられるようになりました。

### 新型コロナウイルス感染症は、他の人にうつすリスクはどれくらい?

個人差がありますが、発症2日前から発症後7~10日間は感染性のウイルスを排出しているといわれています。(発症後3日間は、感染性のウイルスの平均的な排出量が非常に多く、5日間経過後は大きく減少するといわれています。)このことから、特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことに注意してください。

10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性があることから、不織布マスクを着用したり、高齢者等ハイリスク者と接触は控える等、周りの方へうつさないための配慮をしましょう。

発症後10日を過ぎても咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、マスクの着用など咳エチケットを心がけましょう。

### どのくらいの期間、外出を控えればよい?

発症日を0日目として5日間は外出を控え、5日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、外出を控え様子を見ることが推奨されます。症状が重い場合は、医師に相談してください。

### 家族が新型コロナウイルス感染症にかかったら?

可能であれば部屋を分け、お世話はできるだけ限られた方で行うことなどに注意してください。

その上で、特に5日間はご自身の体調に注意してください。7日目までは発症する可能性があります。こうした間は、手洗い等の手指衛生や換気、不織布マスクの着用や高齢者等ハイリスク者と接触を控える等の配慮をしましょう。

厚生労働省ホームページから加工して作成



## 寄付のできる自動販売機を 設置していただける 企業・事業所を募集中！！

売上の一部が地域の母子会の  
活動に活用されます。

※設置には月々の電気代と設置スペース  
(1㎡程度)が必要です。



ハートピア京都で活躍中

## おやこ de アート in 京セラギャラリー

すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望をもって成長できることを願い、アートを通じて活躍の場を提供することを目的として絵画作品展を開催します。

**日時** 令和5年8月7日(月)～8月25日(金)(土・日・祝日、8月11日～16日休館)

**場所** 京セラ本社ビル1F 京セラギャラリー  
(京都市伏見区竹田鳥羽殿町)



製作風景

### 京都府母子寡婦福祉大会及び 全体研修会

子どもの意見発表や体験談、講演と会場を盛り上げてくれる  
アトラクション！

みなさん！ぜひお出かけください。

**日時** 令和5年10月22日(日)13時～16時

**場所** 京都テルサ(京都市南区)

※今回は例年の会場に戻ります。



### 「母子会」って いいこといっぱい

母子会は、あなたと子どもたちが安心して暮らせる社会づくりを目指して活動しています。

令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響もありましたが、京都府の食料品・生活必需品等配布事業を受けて、会員の皆さんにお届けすることができました。

毎年、いきいきふれあい事業として、バスで出かけて、体験や研修、交流を行っており、他にも各母子会で行事などを開催しています。

同じ境遇、同じような体験をしてきた仲間です。

あなたの近くにも母子会があります。どうぞお気軽にお問い合わせください。

お問合せは、各地域の母子会、  
または京都府母子寡婦福祉連  
合会事務局(電話075-223-1360)  
まで



コロナがようやく5類感染症に移行し、3年ぶりに各支会ともいろいろな工夫・趣向を凝らし、活動しておられることお慶び申し上げます。

母子ともに元気に頑張っておられる姿を見て、心より嬉しく思います。

コロナ禍のピンチをチャンスに変えて、ますます発展させていけるよう、皆様お身体に気を付けて、猛暑を乗り越えていきましょう。  
(小木曾)

### 社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 佐竹 幸子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<https://hitorioya.kyoto/>

